

今年の交通事故発生状況と 冬場に向けたポイントについて



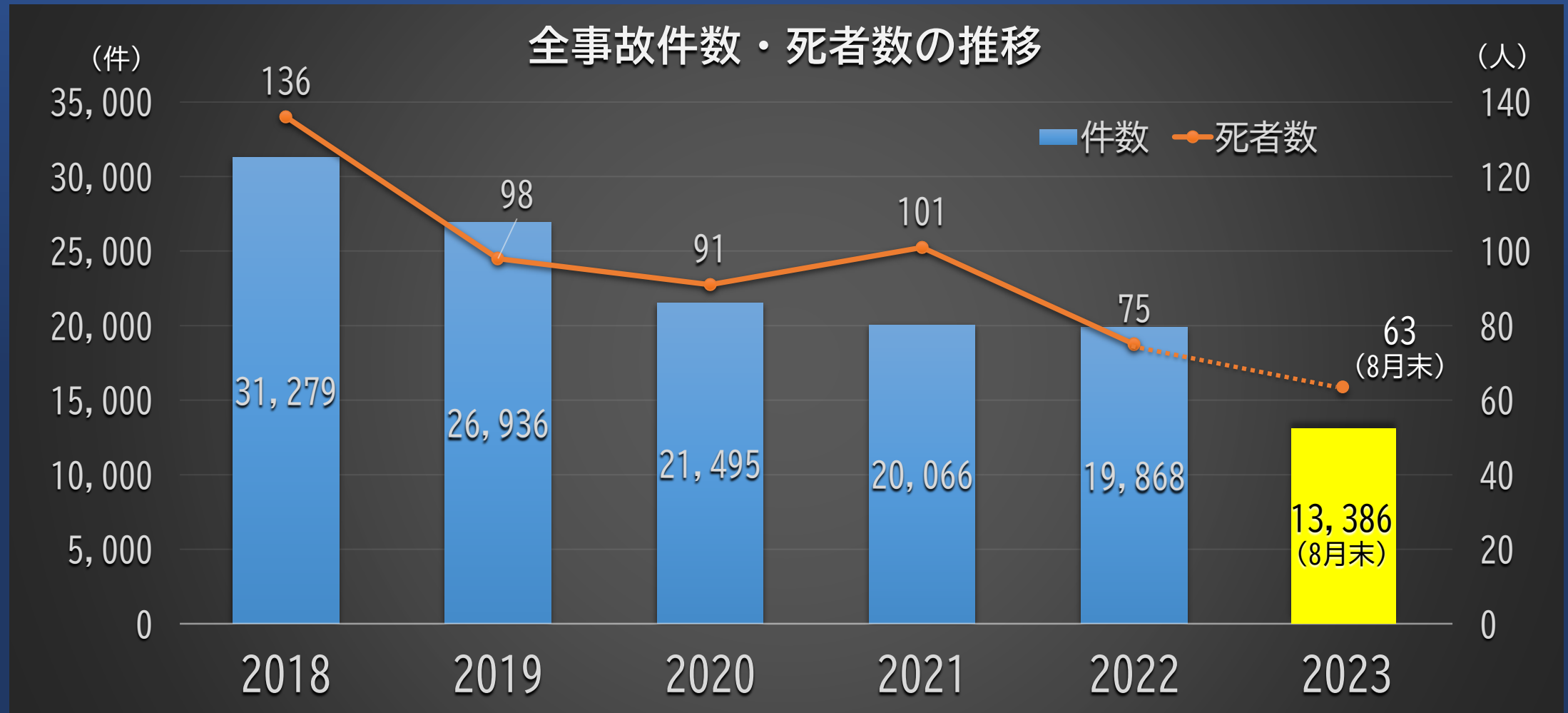
福岡県警察本部
交通企画課

令和5年10月12日

近年の交通事故発生状況

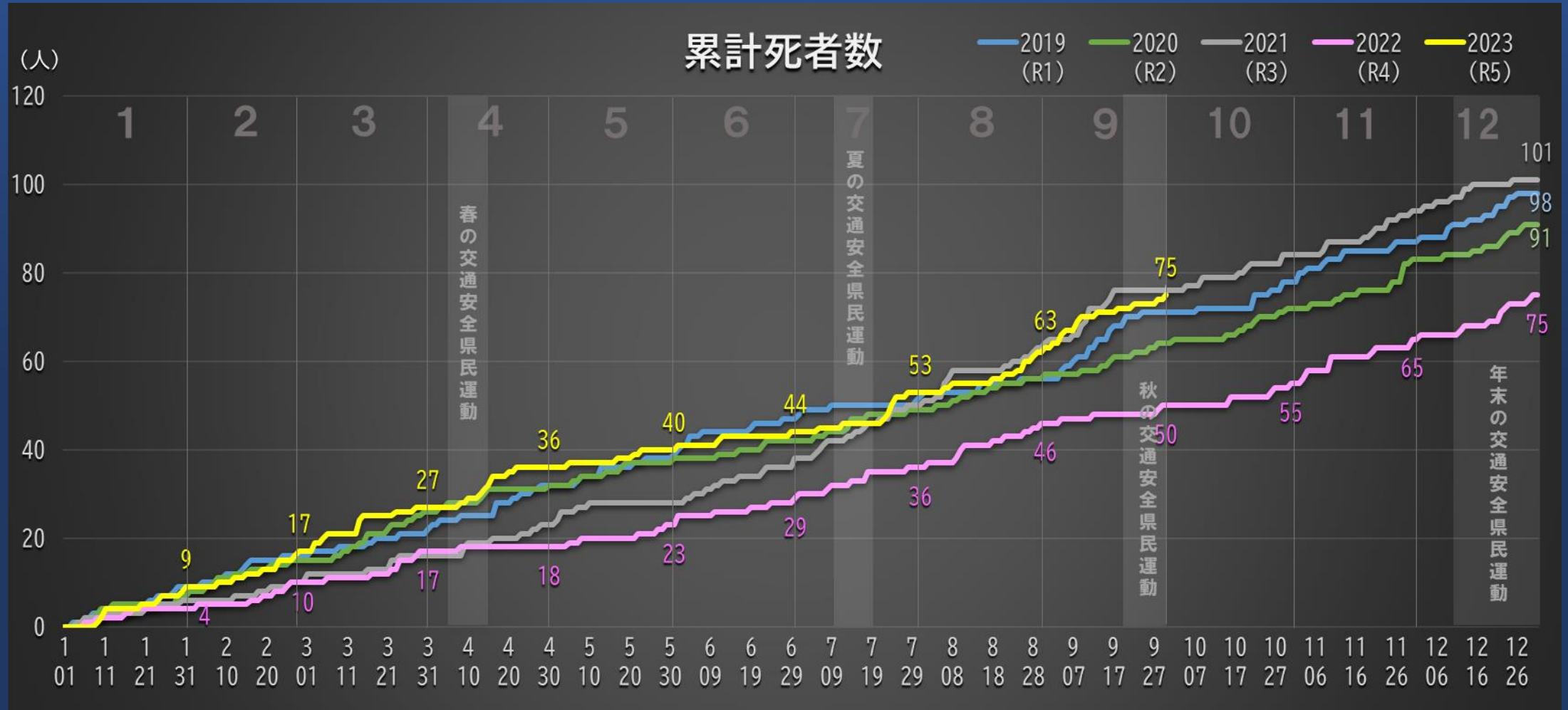
平成30年（2018年）～令和4年（2022年）
との対比

近年における県内の交通事故発生状況



- ・ 総事故件数は、減少傾向で推移（2022[R4]は2018[H30]から36.5%減少）
- ・ 死者数は、2021[R3]に増加に転じたものの、全体としては減少傾向で推移
- ・ 今年は、8月末で死者数は63人、件数は13,386件

近年における県内の交通事故発生状況

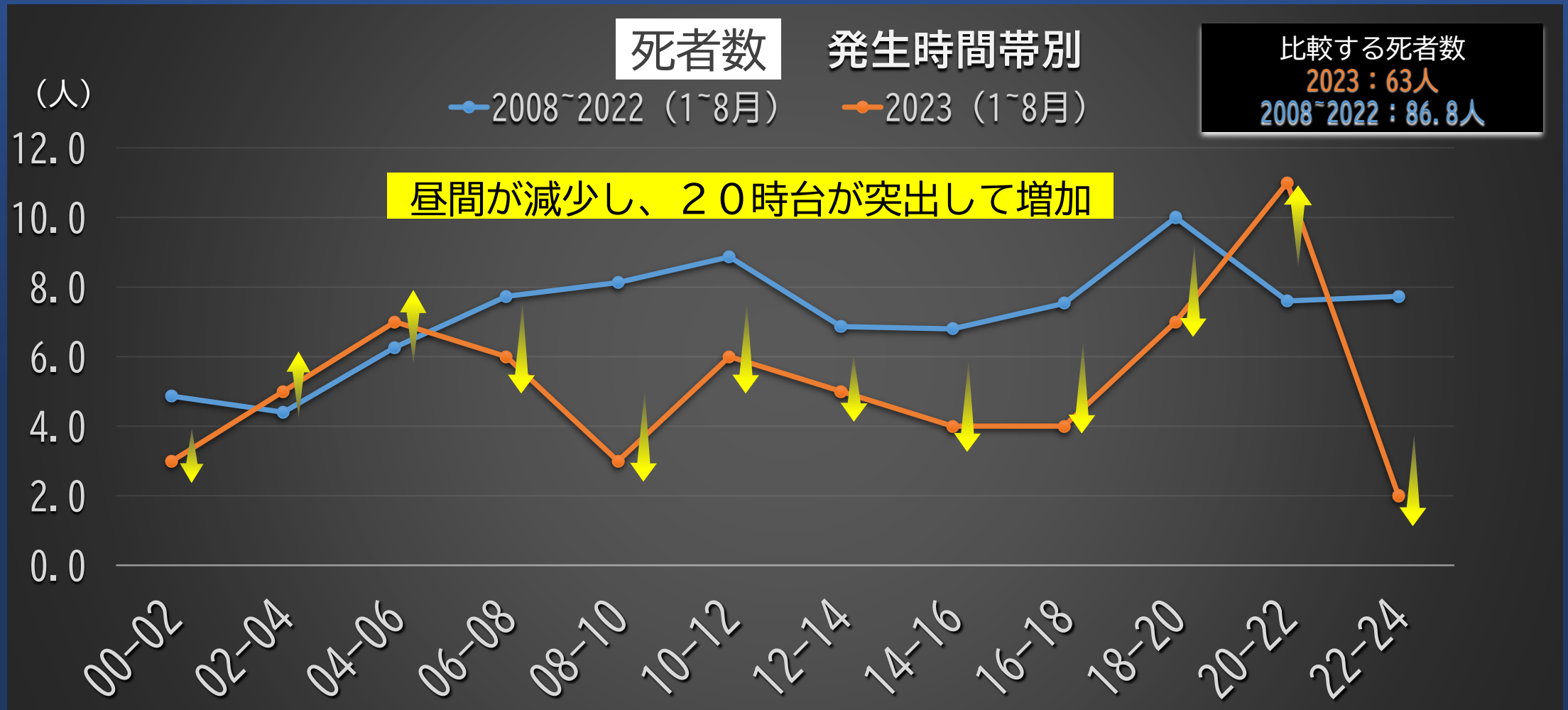


- ・ 今年の累計死者数は、2019年以降の中でも高水準で推移
- ・ 事故総量抑制に向けた今後の取組が重要

令和5年（1～8月） 死亡事故 発生状況

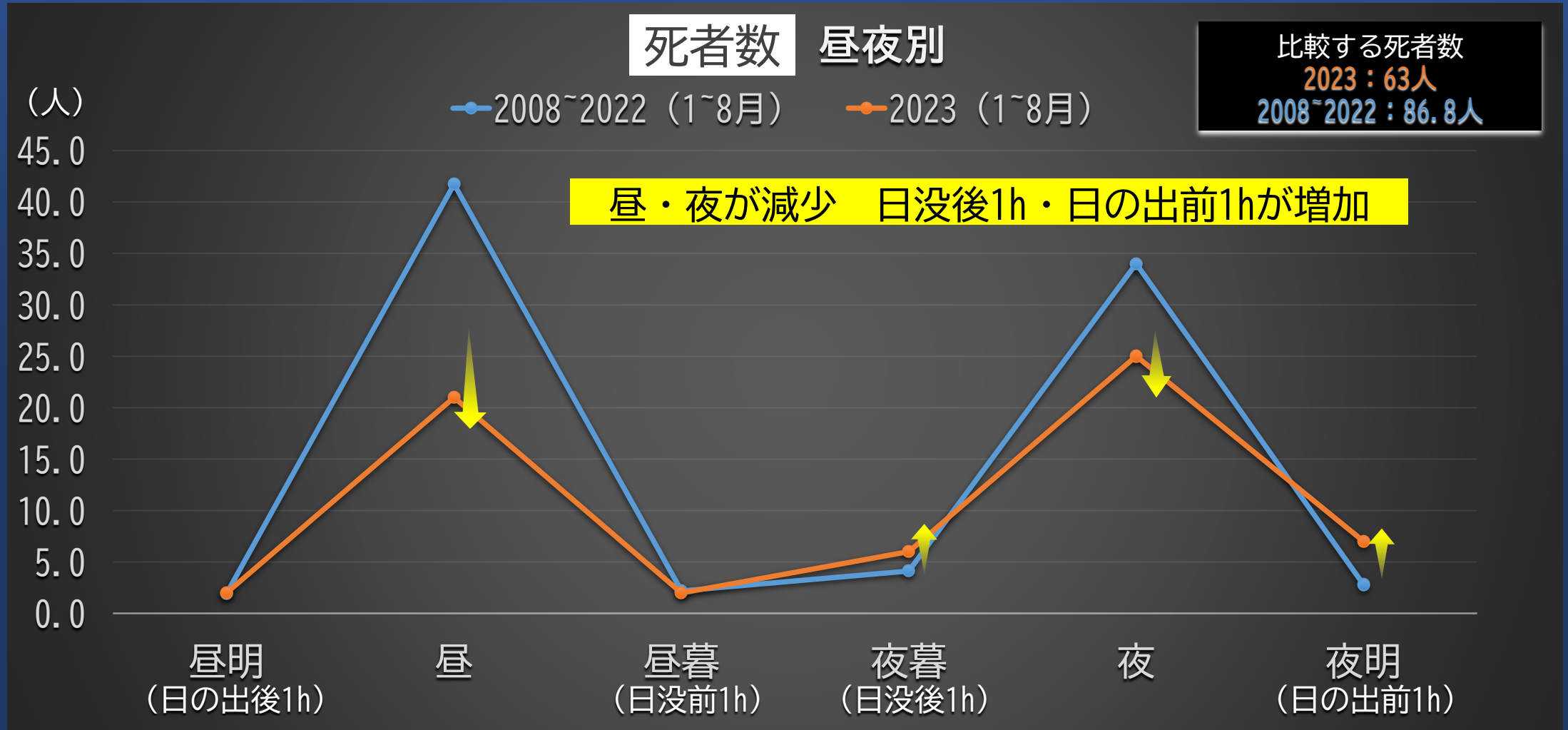
過去15年間
平成20年（2008年）～令和4年（2022年）
同期（1月～8月）との対比

過去15年間との対比



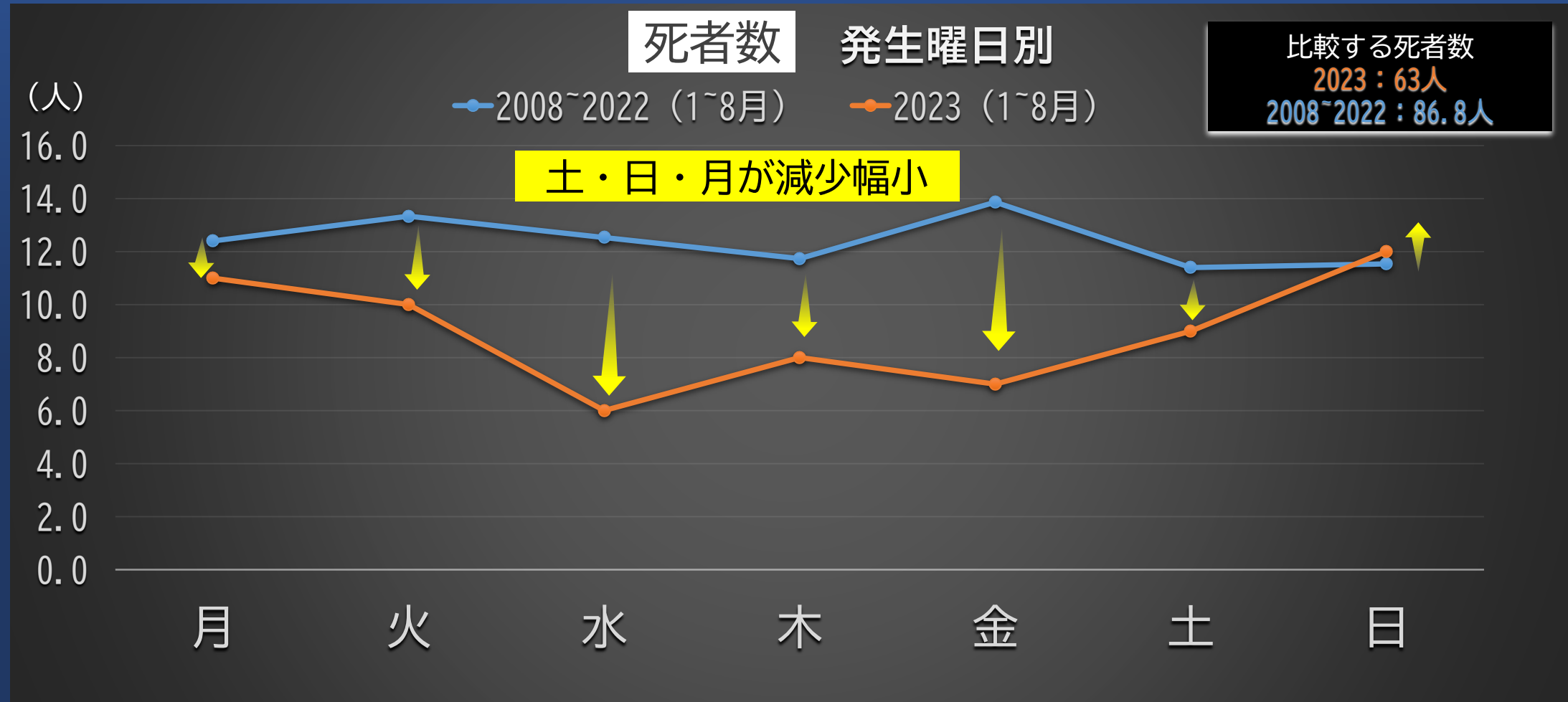
- ・ 昼間の件数が減少、夜間は20時台が突出して増加

過去15年間との対比



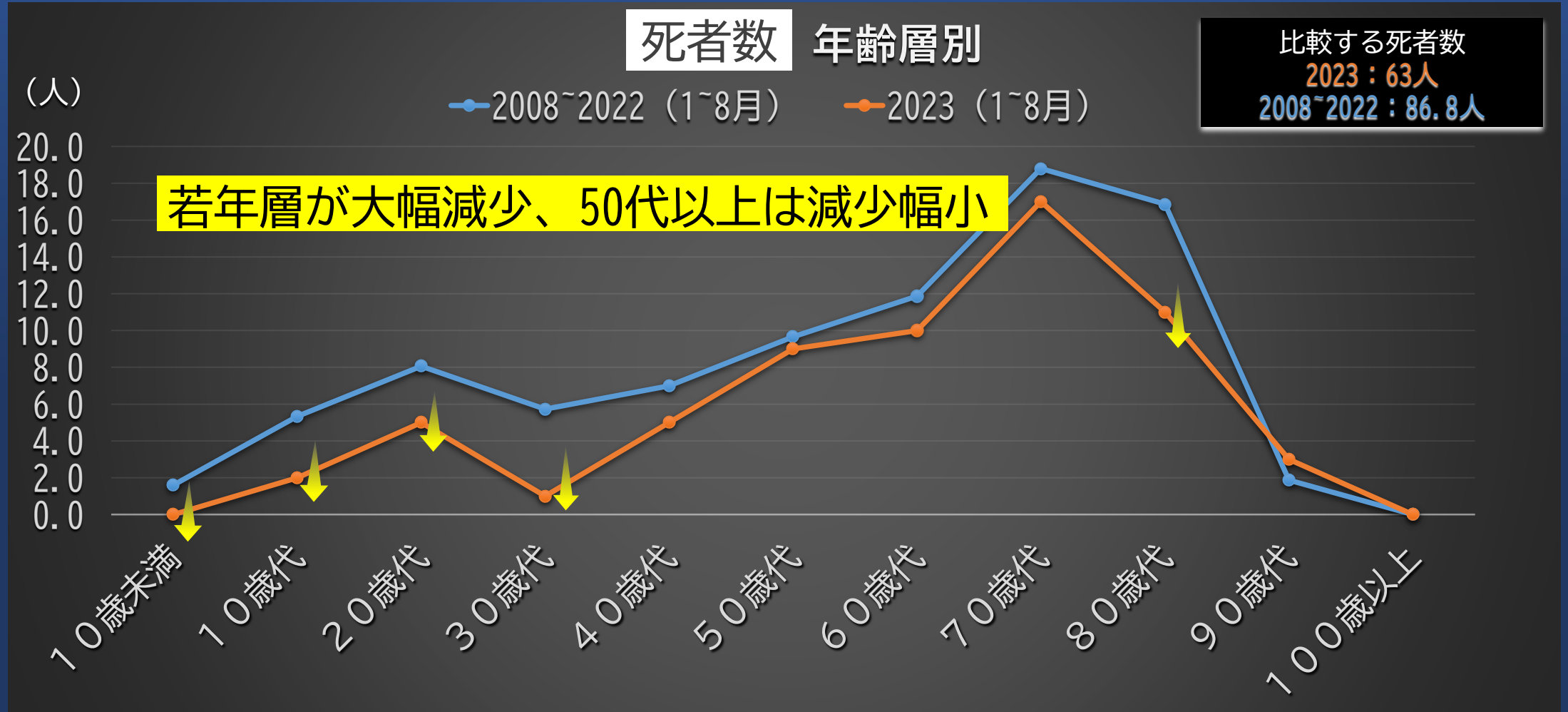
・ 昼・夜が減少し、日没後1h・日の出前1hが増加

過去15年間との対比



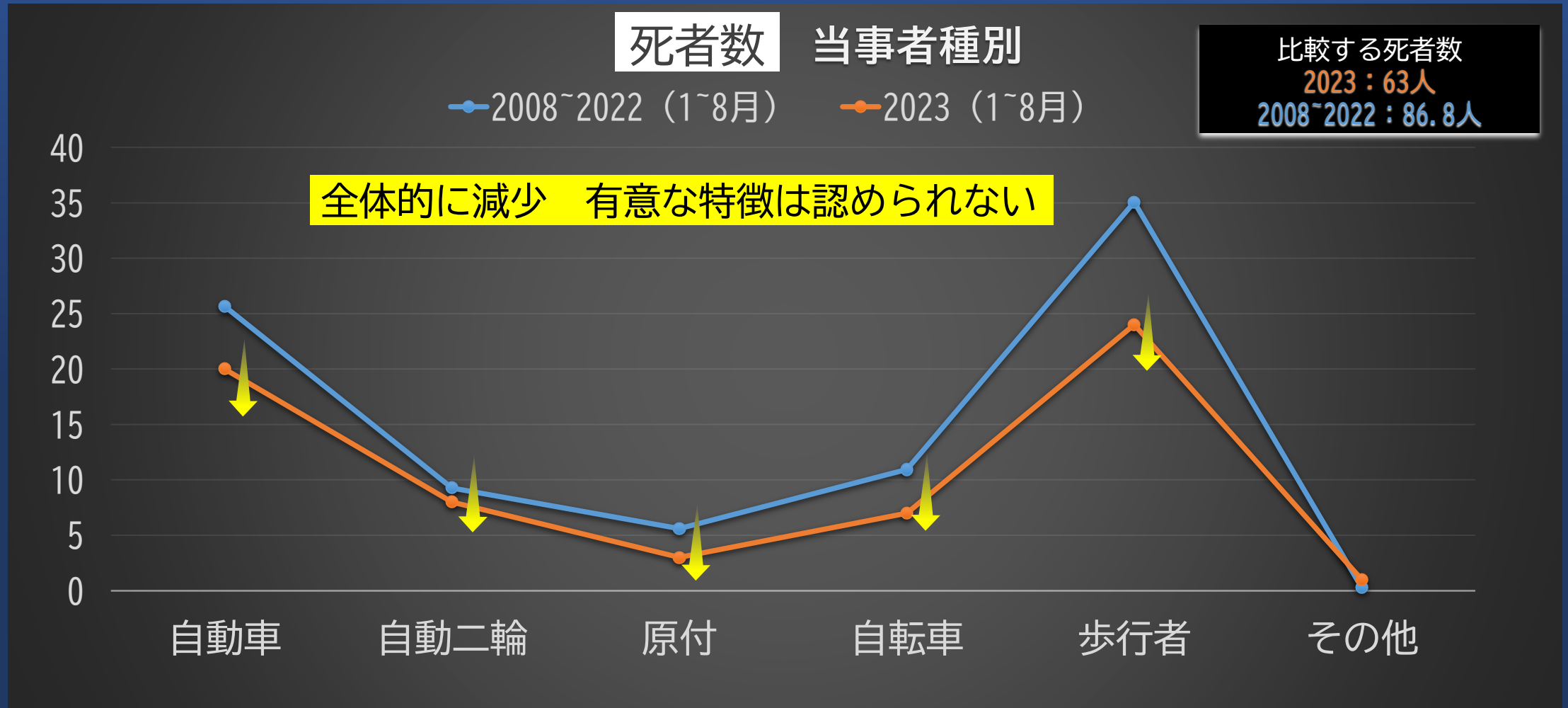
- ・「土」「日」「月」の減少幅が小さい。
- ・相対的に「土、日」が増加

過去15年間との対比



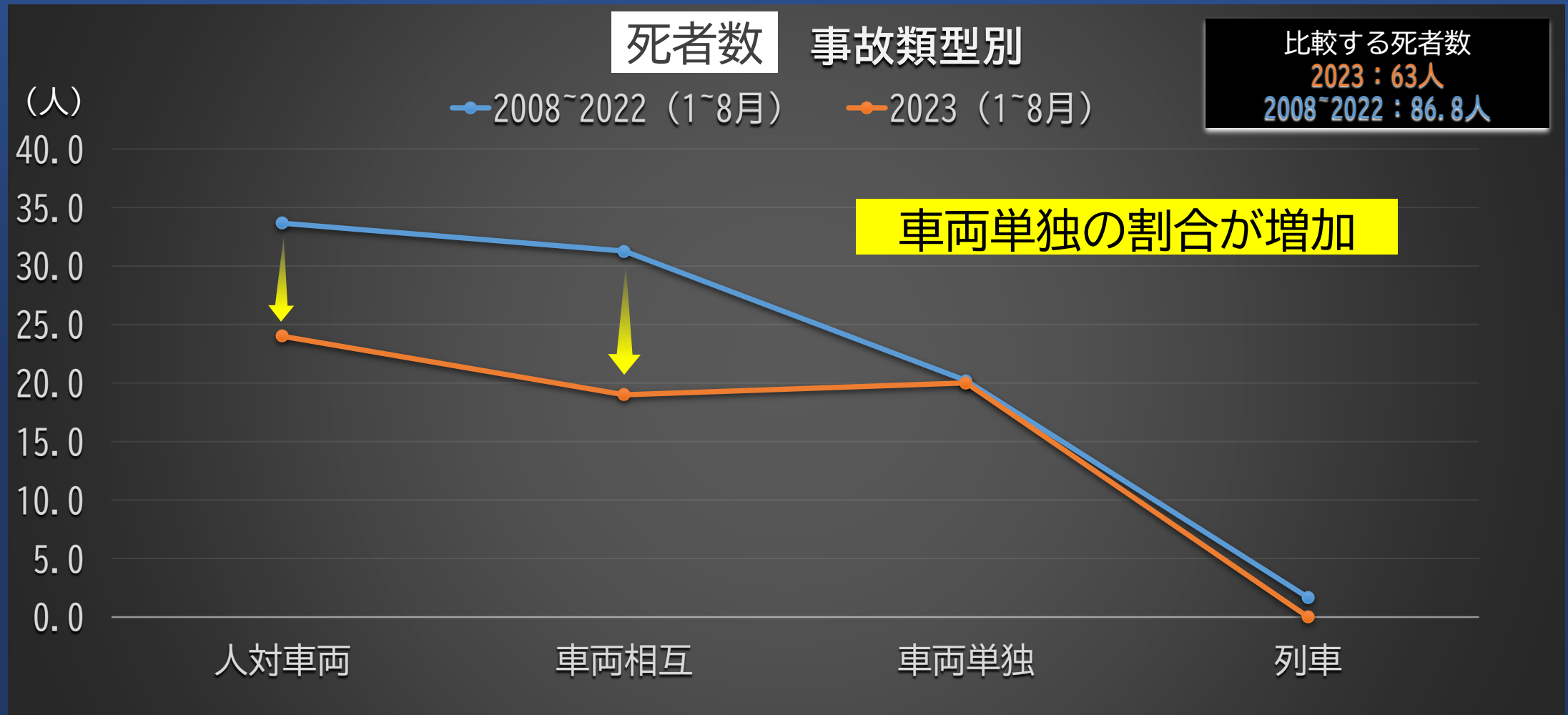
- ・「若年層」が減少し、50代以上で減少幅が小さい。
- ・少子高齢化の影響が如実に表れている。

過去15年間との対比



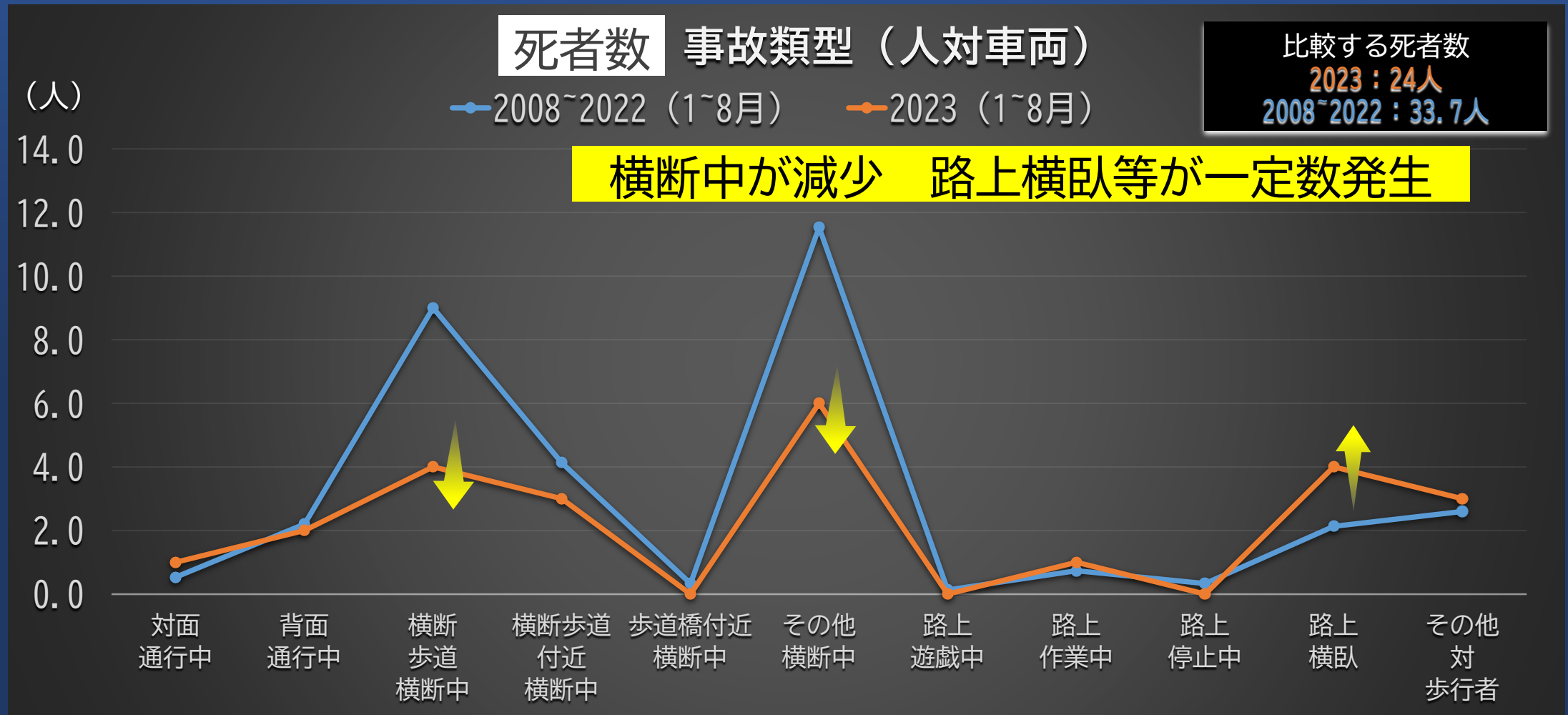
- ・ 全体的に減少しているが、過去データと同傾向。有意な特徴は見られない。

過去15年間との対比



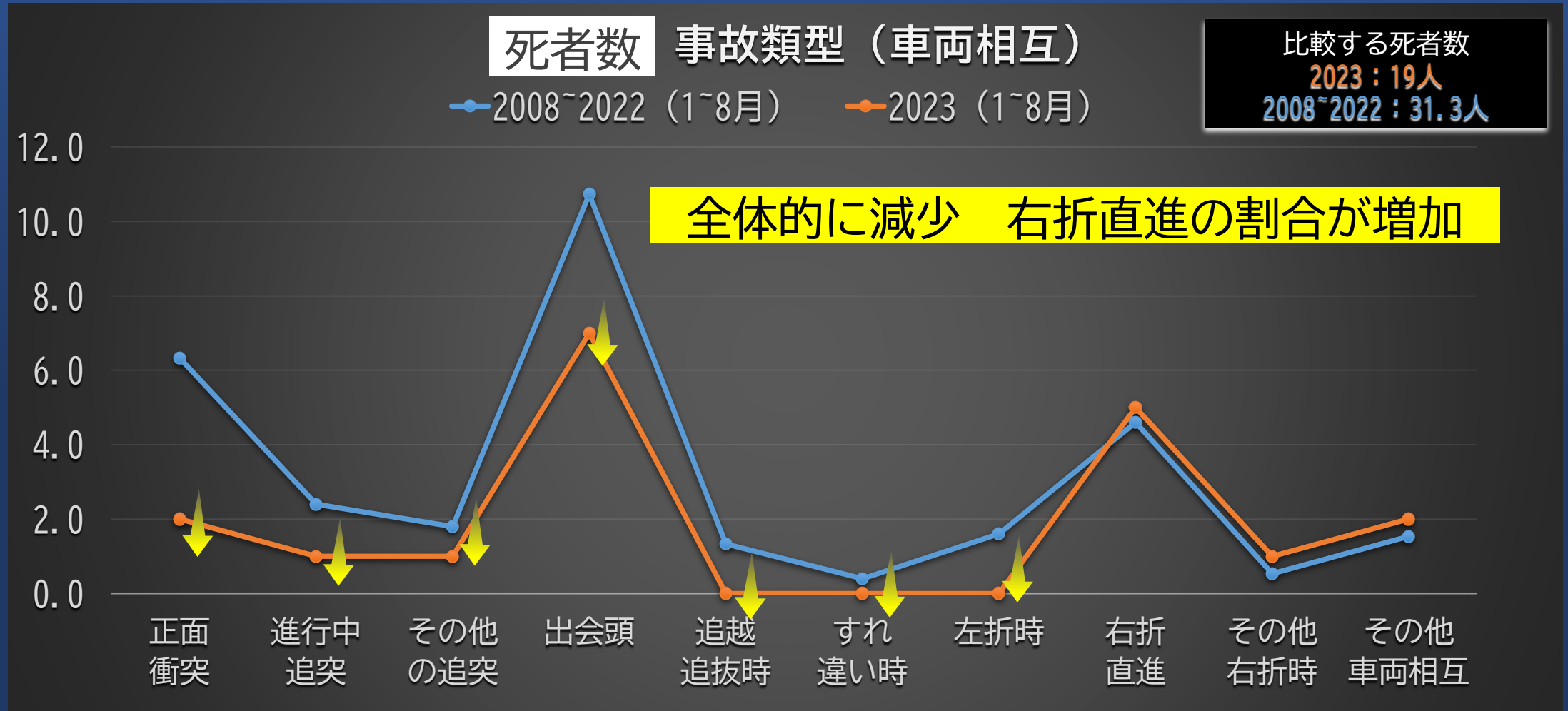
- ・「車両相互」「人対車両」が減少し、「車両単独」の割合が増加

過去15年間との対比



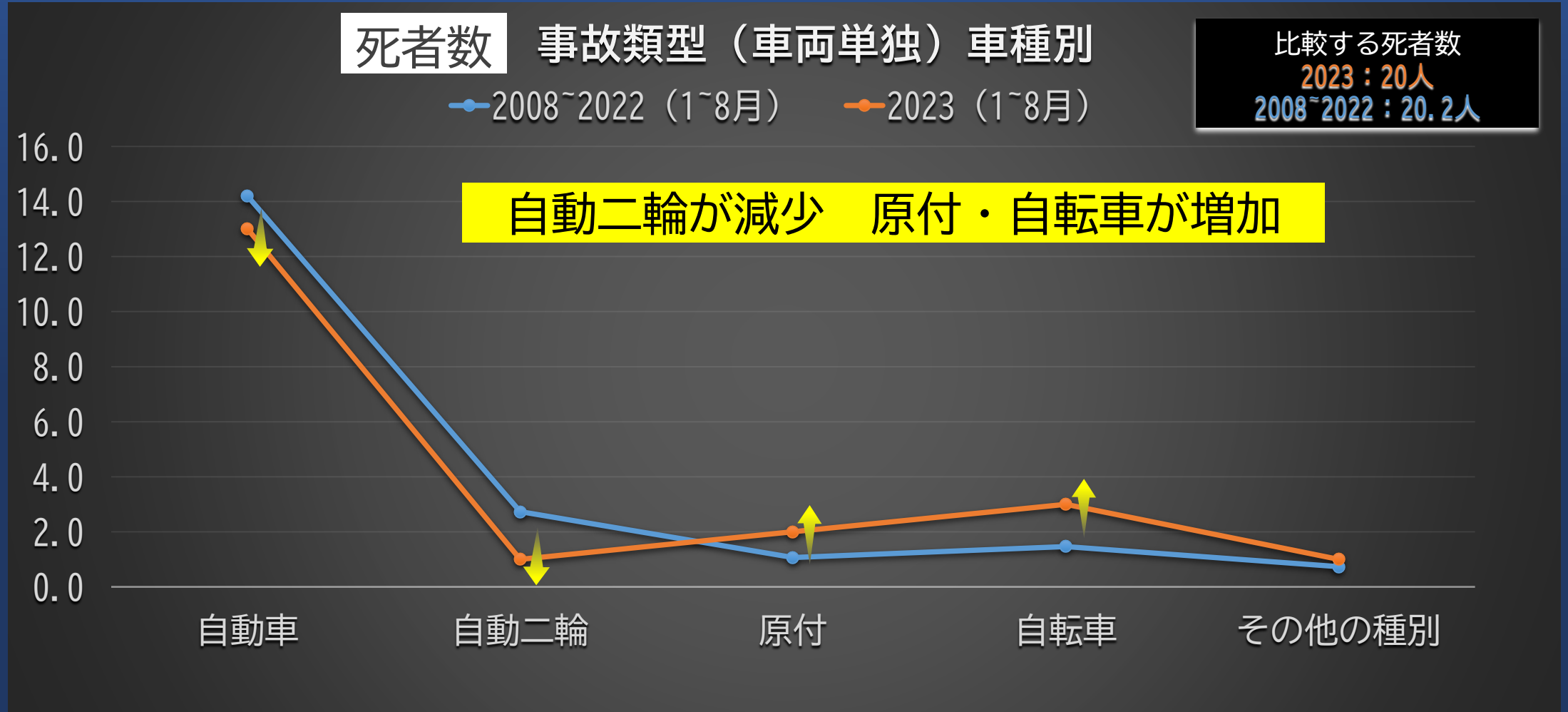
- ・ 人対車両は「横断中」が減少し、「路上横臥」「路上作業中」が一定数ある。

過去15年間との対比



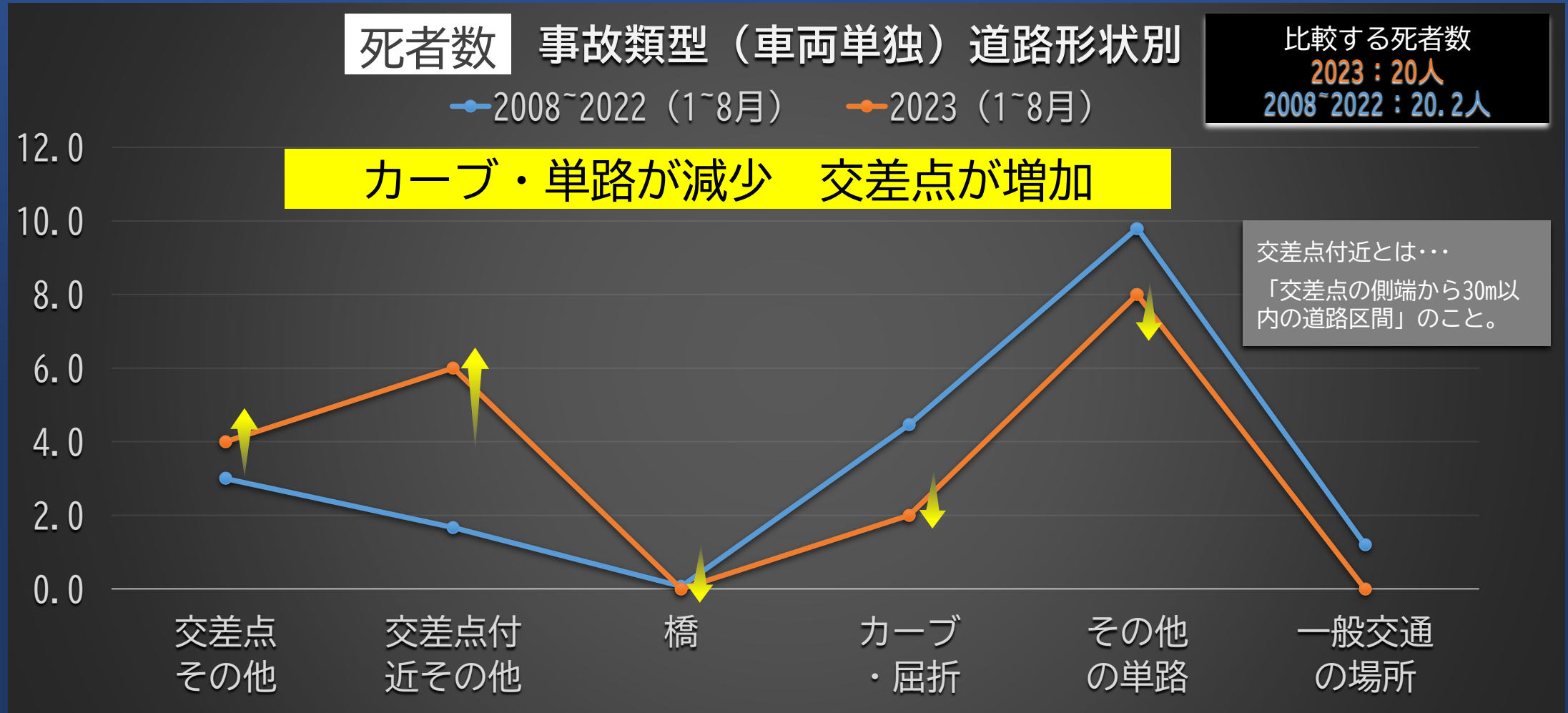
- ・ 全体的に減少しているが、右折直進の割合が増加

過去15年間との対比



- ・ 自動車、自動二輪が減少し、原付、自転車が増加

過去15年間との対比

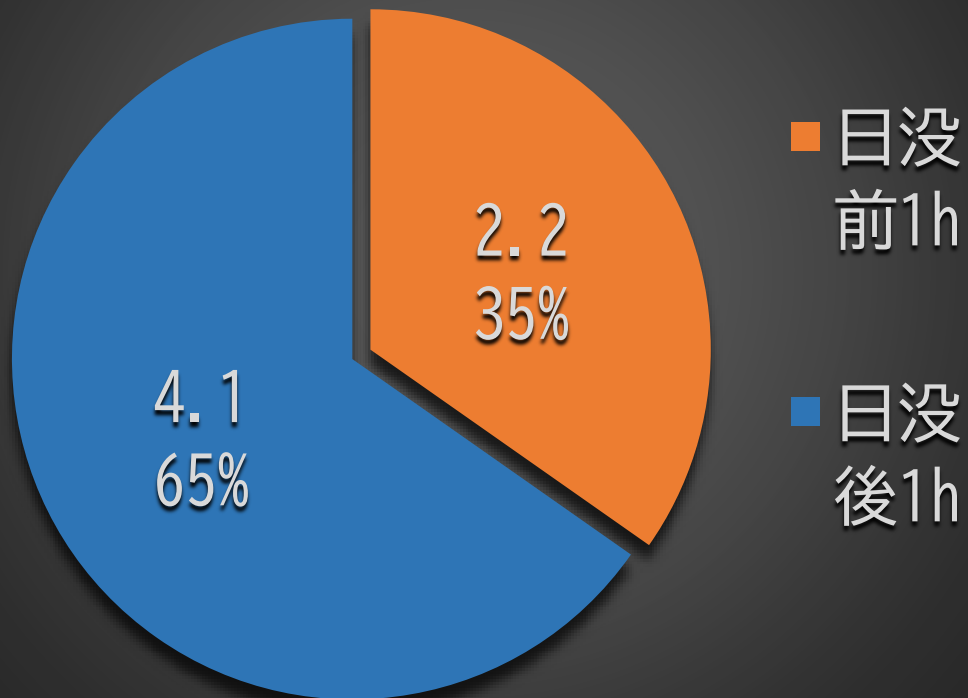


- ・ 単路、カーブが減少し、交差点とその付近が増加

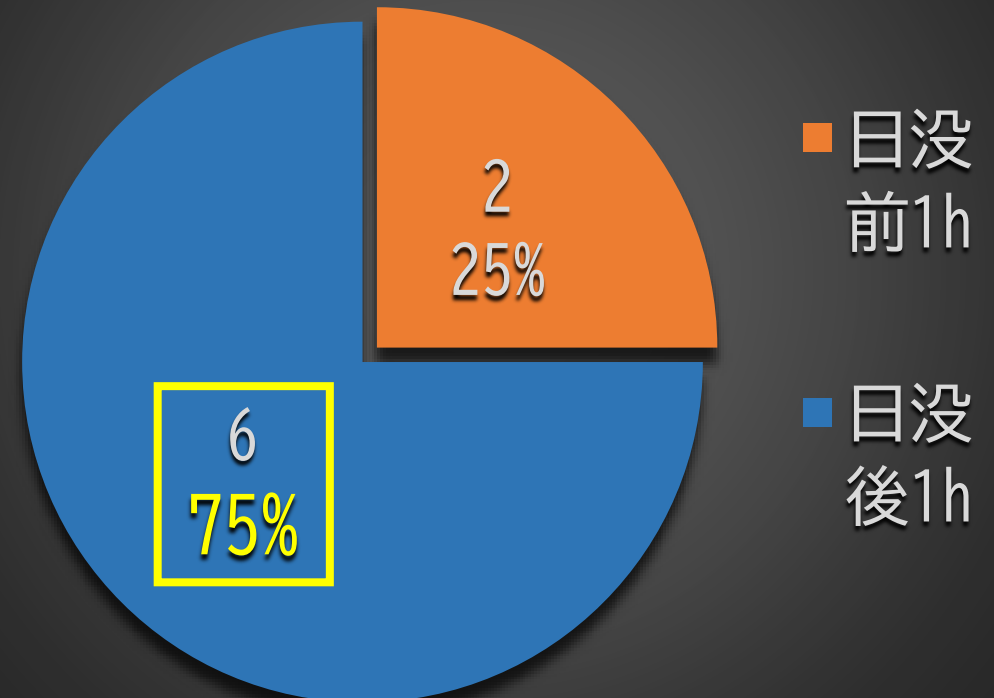
過去15年間との対比

死者数 薄暮時間帯（日没前1h・日没後1h）

2008～2022（1～8月）



2023（1～8月）

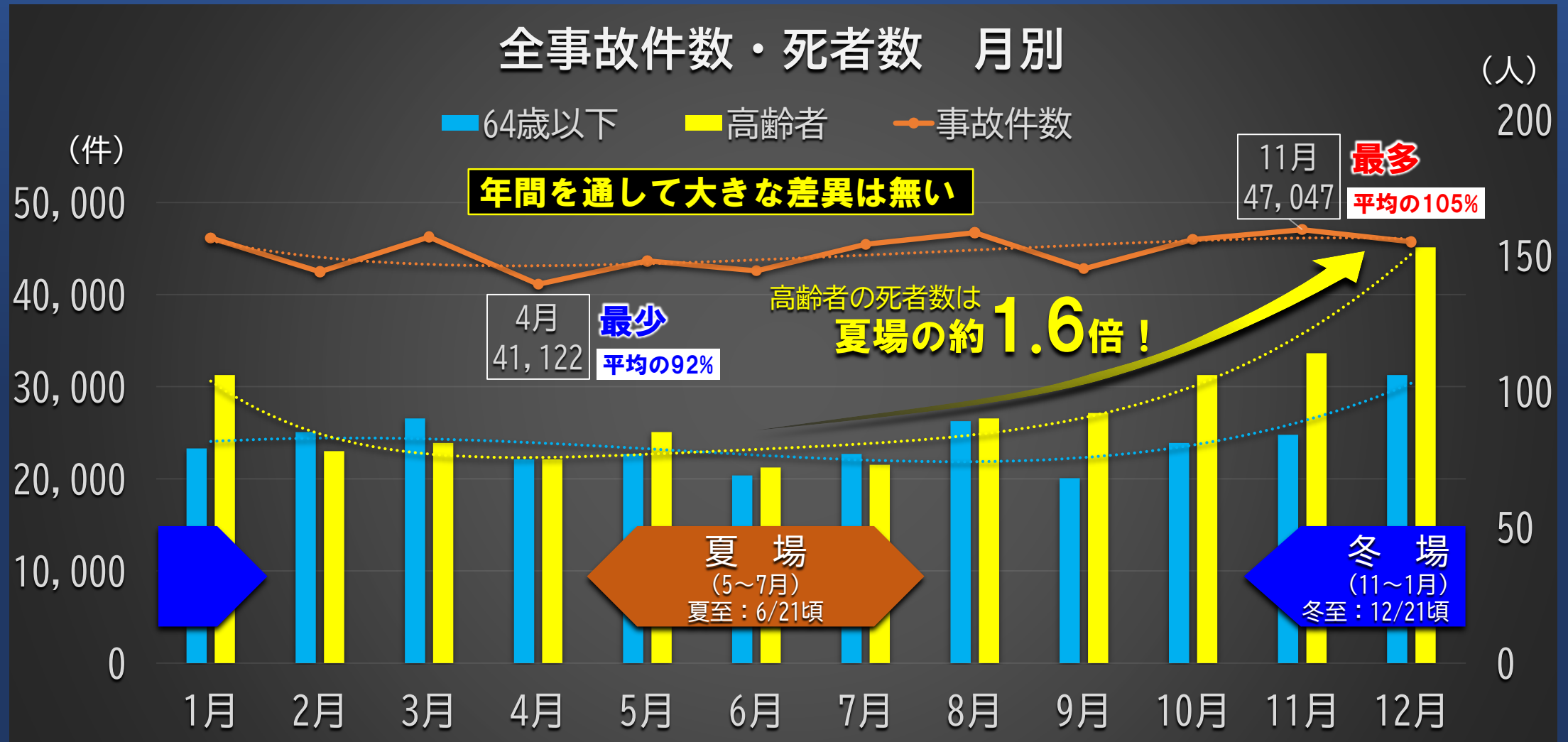


- ・ 過去15年では、日没後1hにおける死者数割合が薄暮時間帯の65%
- ・ 令和5年は、75%へと上昇
- ・ 今後迎える冬場においては、さらに夜暮時間帯の死者が増加

これから迎える冬場に向けて

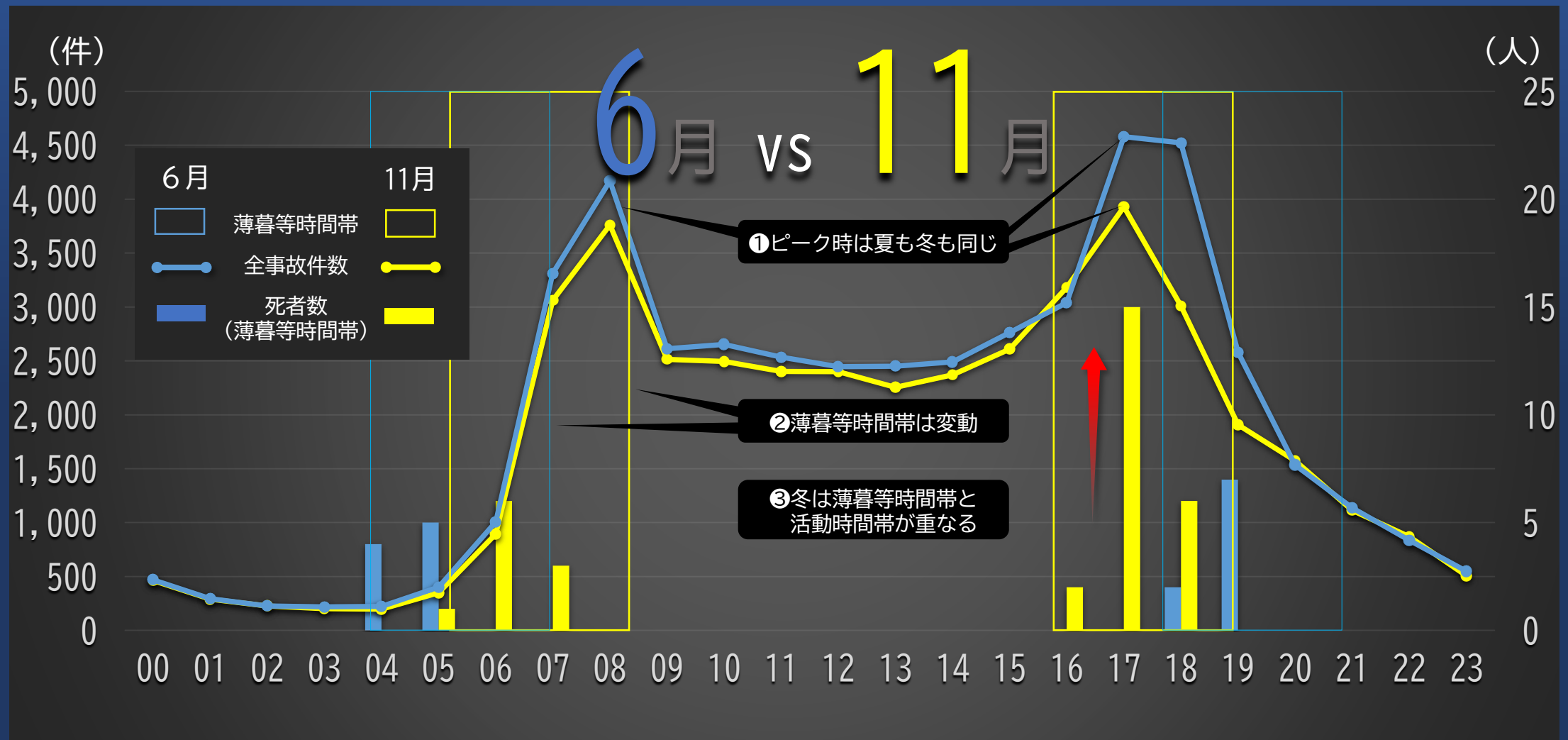
過去15年間
平成20年（2008年）～令和4年（2022年）
のデータから傾向分析

これから迎える冬場に向けて



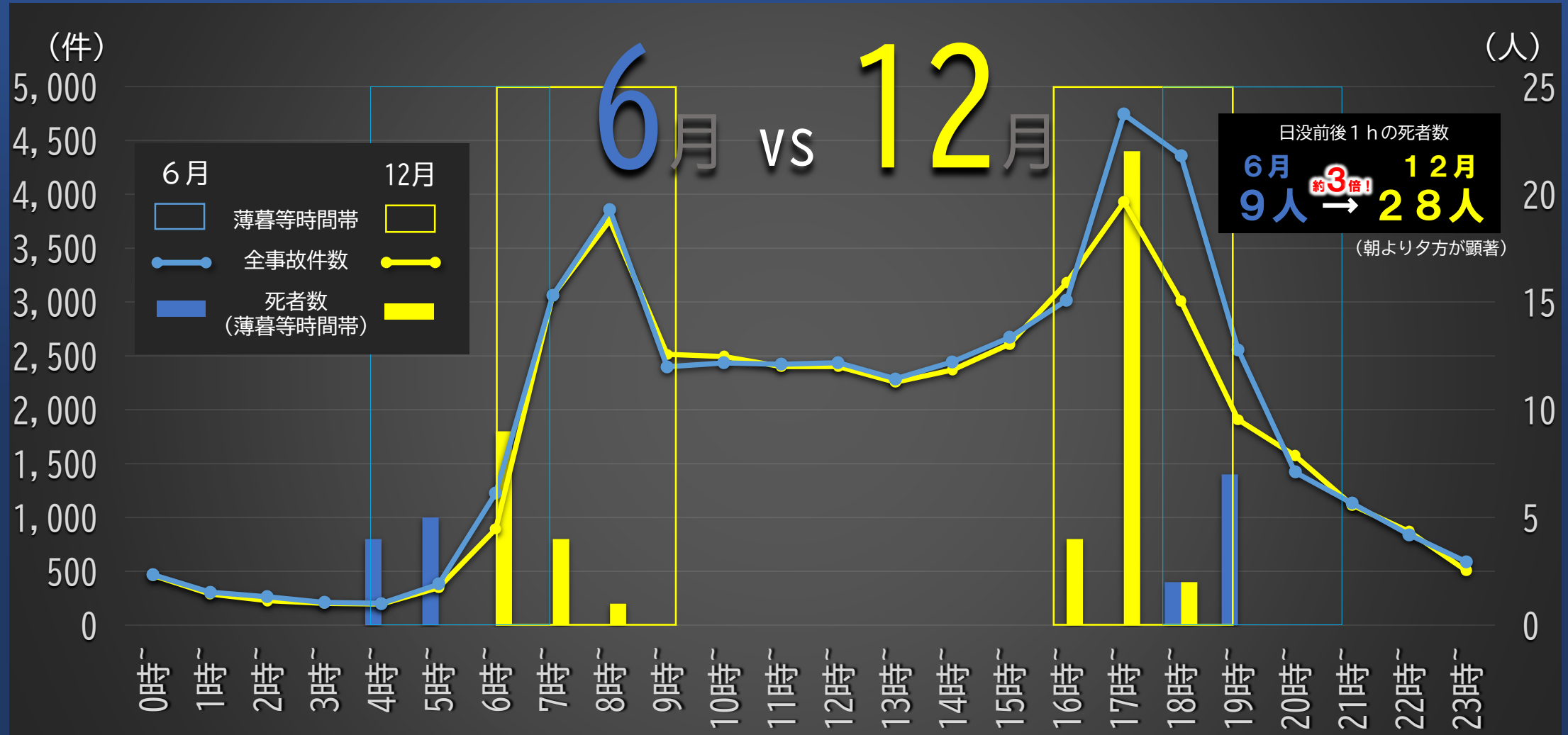
- ・ 全事故件数は、小さな波はあるものの有意な特徴は無い（冬場に向けやや上昇）。
- ・ 死者数のうち高齢者は、夏場の1.6倍に増加

これから迎える冬場に向けて



- ・ピーク時間は夏も冬もほぼ変わらず、朝は8時台、夕方は17時台
- ・一方で、薄暮等時間帯は日々変化。冬場はこの二つが重なる時間が長い。

これから迎える冬場に向けて

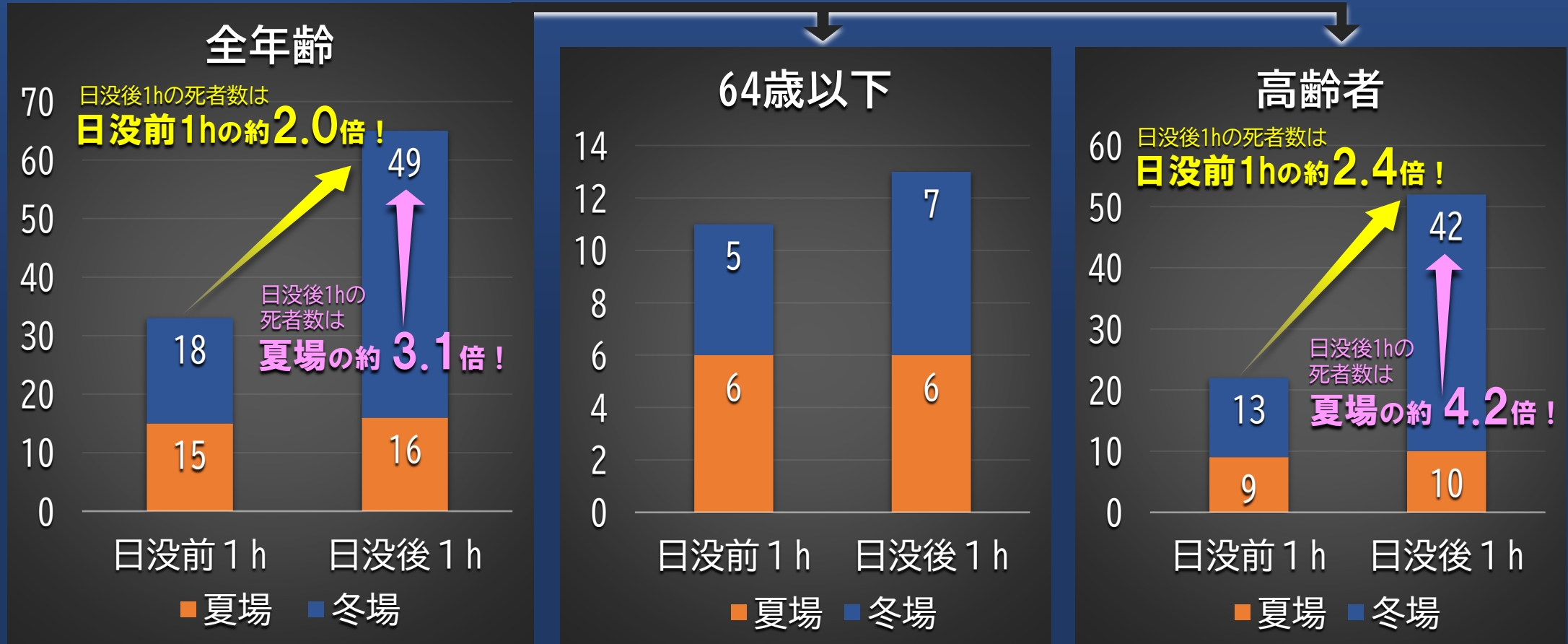


- ・ 6月と12月の比較ではさらに顕著に。
- ・ 薄暮時間における死者数を夏と冬で比較すると、冬が約3倍に跳ね上がる。

過去15年間との対比

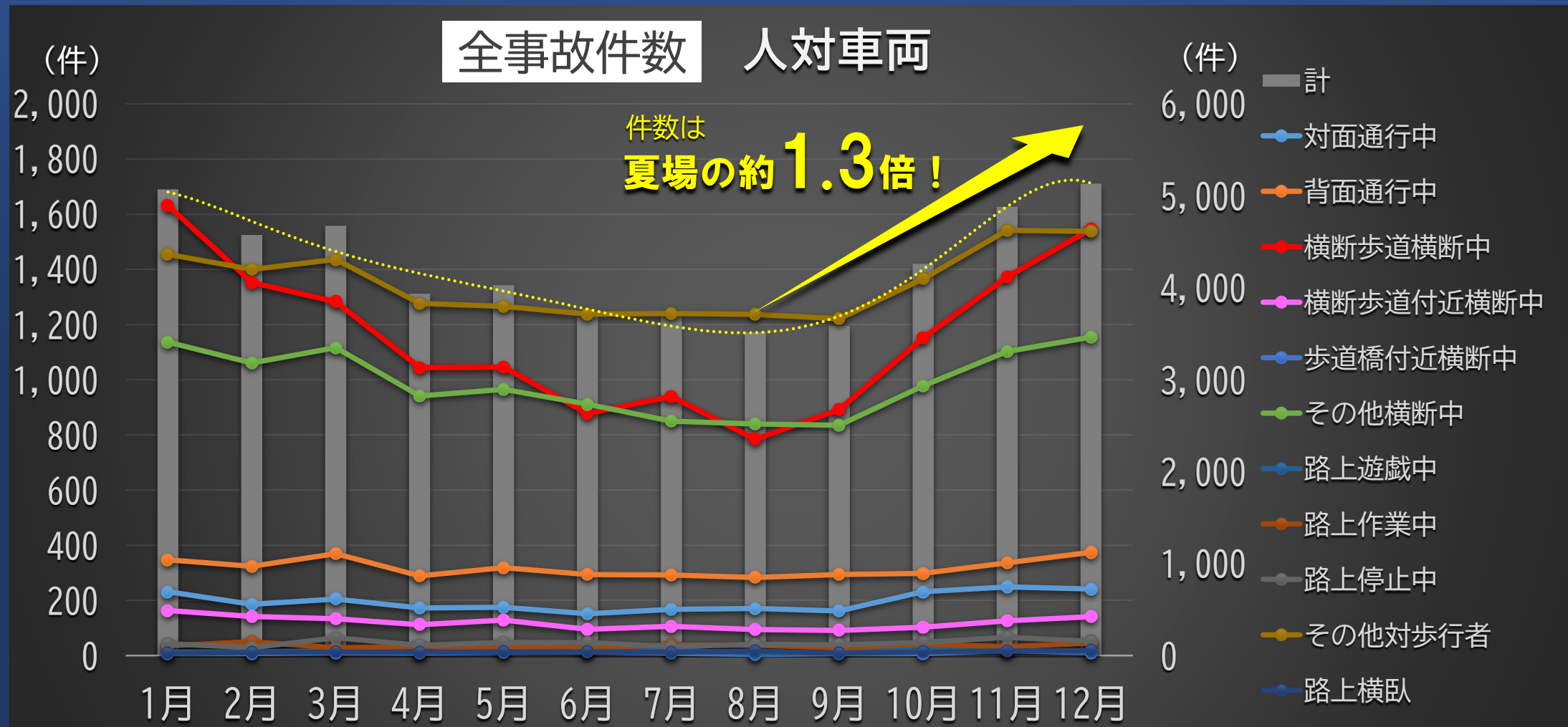
死者数

薄暮時間帯（日没前1h・日没後1h）



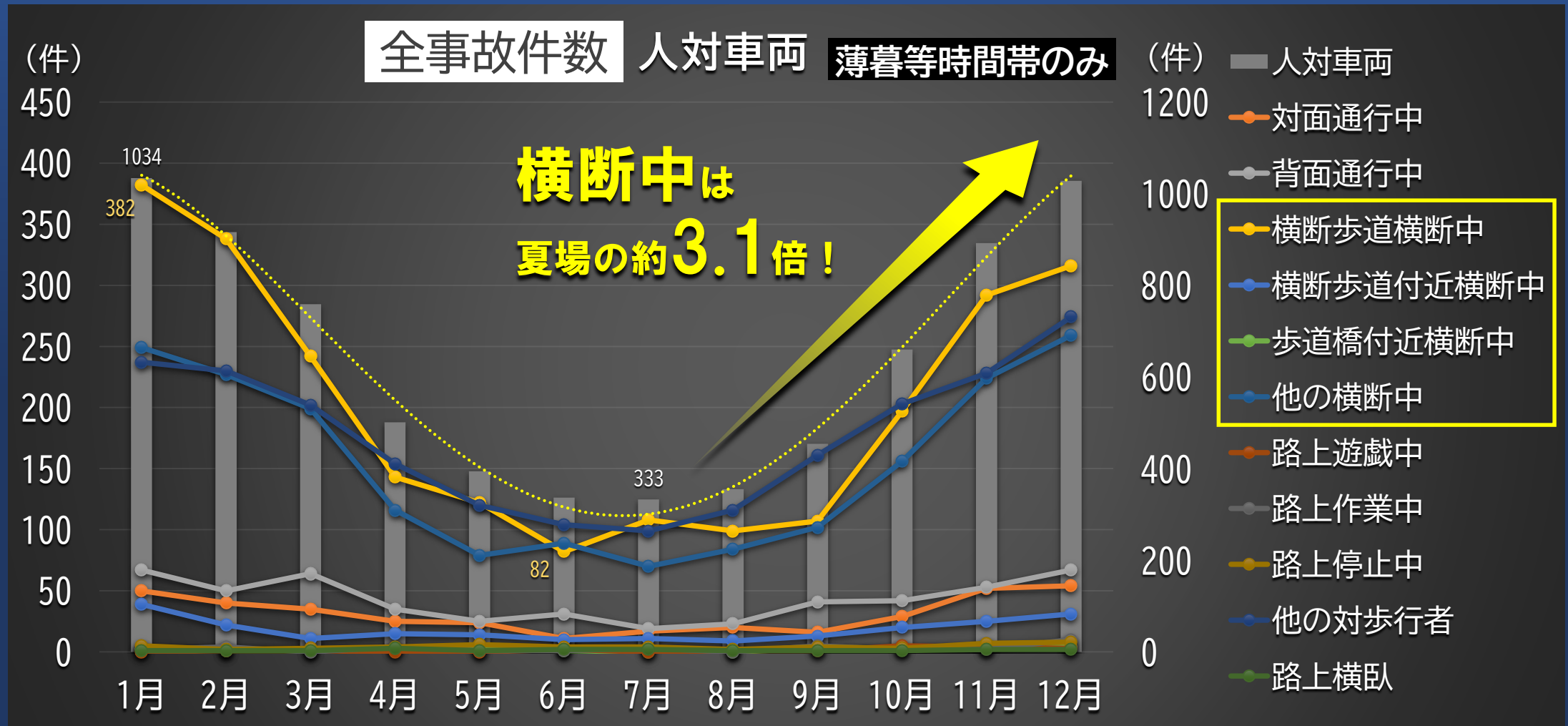
- ・ 過去15年では、日没後1hにおける死者数は日没前1hの約2倍、夏場との比較では約3.1倍
- ・ 年齢層別に分けると、64歳以下では若干の変化
- ・ 高齢者では、日没後1hにおける死者数は日没前1hの2.4倍、夏場との比較では約4.2倍

これから迎える冬場に向けて



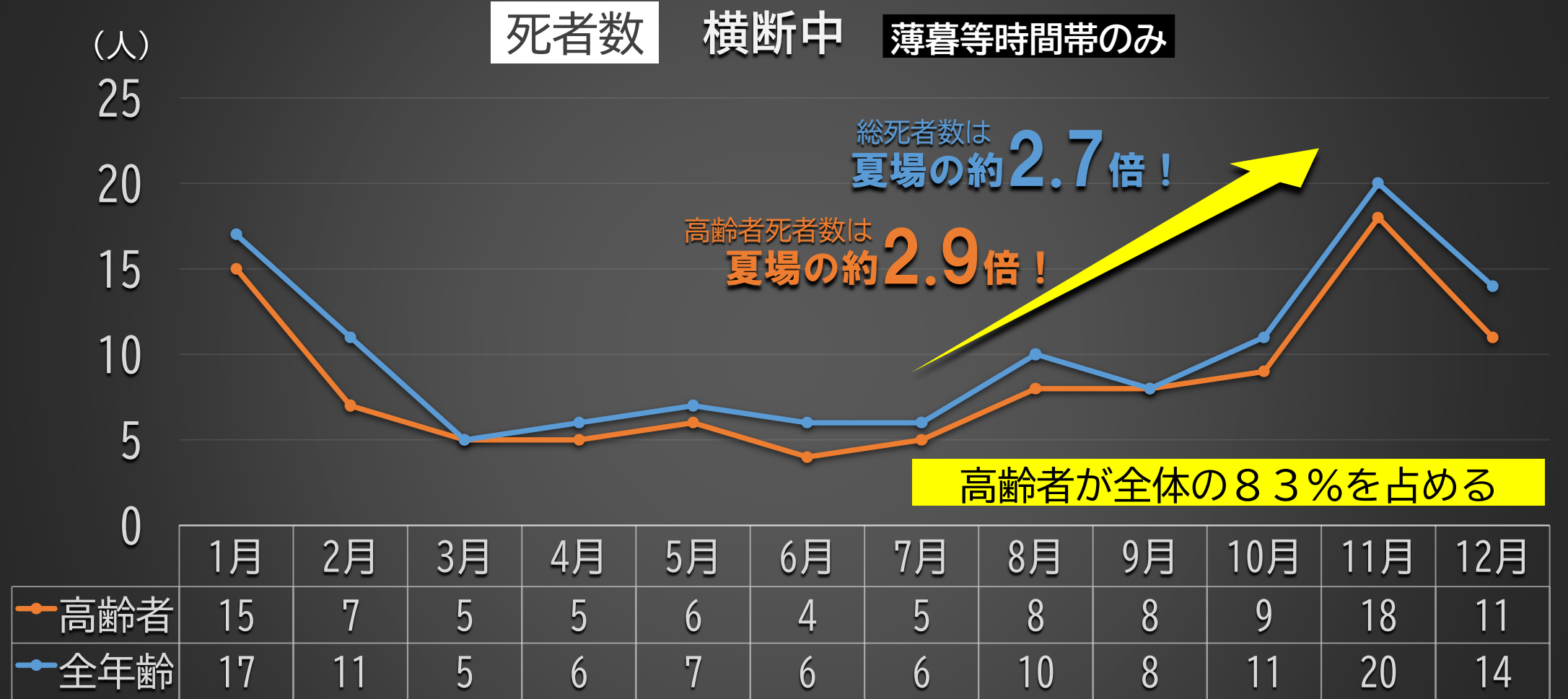
- ・ 冬場に増えてくるのが「人対車両」。夏場の約1.3倍に増加
- ・ なかでも「横断歩道横断中」は顕著

これから迎える冬場に向けて



- ・ 件数変化は、薄暮等時間帯に限定するとより顕著
- ・ 特に「横断中」事故件数は、夏場の3.1倍に跳ね上がる。

これから迎える冬場に向けて



- ・ 冬場の薄暮等時間帯における横断中の死者数は、夏場の2.7倍。高齢者は2.9倍
- ・ 高齢者死者の割合は、全体の83%

これから迎える冬場に向けて

まとめ (夏場[5~7月]と比べた冬場[11~1月]の特徴)

① 薄暮等時間帯 (特に日没後 1 h)

薄暮等時間帯

→ 死者数：2.0倍
(冬:106人／夏:53人)

日没後 1 h のみ

死者数：3.1倍
(冬:49人／夏:16人)

② 高齢者

薄暮等時間帯

→ 死者数：2.7倍
(冬:76人／夏:28人)

日没後 1 h のみ

死者数：4.2倍
(冬:42人／夏:10人)

③ 横断中事故

薄暮等時間帯

→ 死者数：2.7倍
(冬:51人／夏:19人)

日没後 1 h のみ

死者数：3.9倍
(冬:31人／夏:8人)

終